

第26期 中間報告  
2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日  
株主通信



SHIP HEALTHCARE

シップヘルスケアホールディングス株式会社

生命を守る人の環境づくり

証券コード：3360

最先端重粒子線がん治療施設  
完工

大阪重粒子線施設管理株式会社



代表取締役会長 CEO

古川 國久



代表取締役社長 COO

小川 宏隆

### グループ理念

# SHIP

Sincere (誠実な心)    Humanity (「情」の心)    Innovation (革新者の気概)    PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

### 基本姿勢

し    せい    そく    だつ  
至   誠   惻   怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

## 『成長』と『進化』はとまらない

### ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、医療・保健・福祉・介護・サービスの分野で5つの事業を展開し、それぞれの分野における業容拡大とグループシナジーを追求してまいりました。こうした中、連結売上高4,084億円、グループ会社数50社まで成長し、業界リーダーとしての地位を築くまでになっております。現在、連結売上高1兆円を長期目標として掲げておりますが、その達成をより確実にしていくために、この度、マイルストーンとして中期経営計画「SHIP VISION 2020」を策定しております。

近況の当社グループを取り巻く環境は、診療報酬・介護報酬のダブル改定を来年に控えるとともに地域医療構想の下、各医療機関の機能分化・連携が求められ、業界全体で大きな変革が動き出しております。従来以上の迅速な判断、新しい市場に対応するスケール感、質的变化を捉えるイノベーションなどがより一層必要とされる時代が到来しております。さらに、国の財政難などによる医療費の抑制傾向が続き、病院経営は厳しい状況が予想され、コスト面での対応も強く求められております。このような環境の下、持続的成長を継続していくには、土台を固めながら自らも変わっていくことが重要となっております。

変化を捉え、その変化を成長の機会に変えて行くために、グループ体制をより強固にし、各セグメントの方向感を定め、セグメントとして力を最大限に発揮できる体制を構築してまいります。そして、この基盤の上に面を確保し、旬を捉える戦略を展開してまいります。今回策定いたしました中期経営計画を礎に、1兆円に向けた持続的成長を実現してまいります。

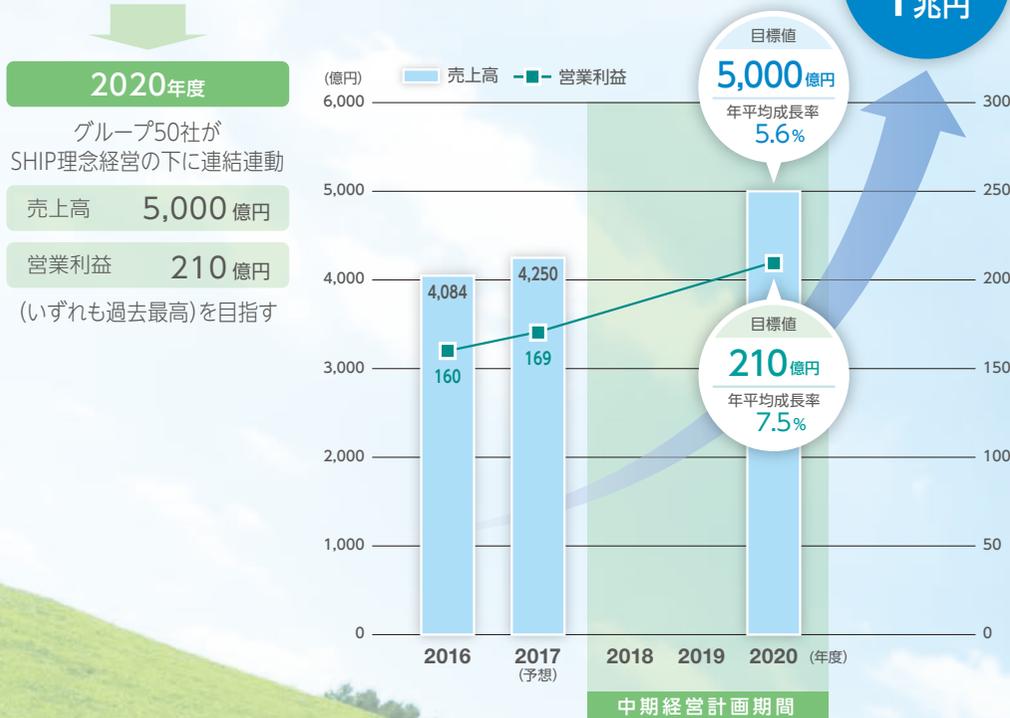
株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 中期経営計画「SHIP VISION 2020」を策定

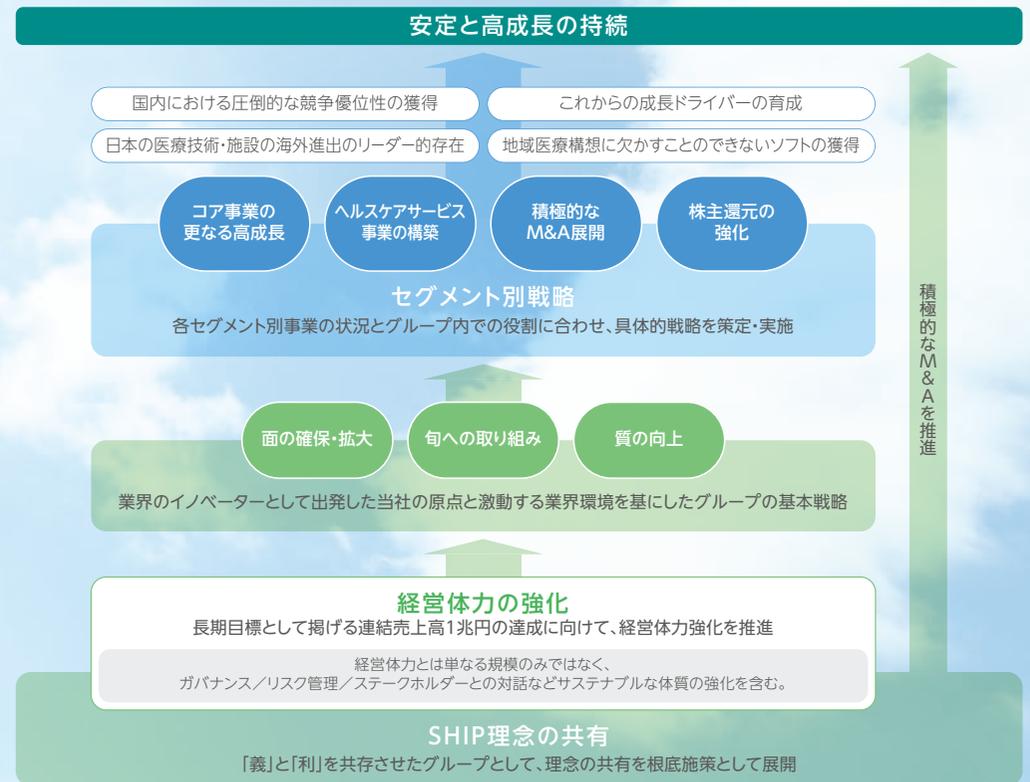
当社グループは本年、創業25周年及び東証一部上場10周年を迎えたことを契機に、今後の更なる成長をより確実にしていくために、2018～2020年度の中期経営計画「SHIP VISION 2020」を策定いたしました。少子高齢化による人口減少時代の到来を受け、持続可能かつ、より高品質な医療サービスの提供を目指す地域医療構想の下、病院統廃合・機能集約が進んでおります。また、恒常化した医療費抑制策により、ヘルスケアを取り巻く環境は今後更に厳しい状況が続くと予想されます。こうした状況の下、本計画は激変する業界環境の中で、高成長の持続と成長を支える経営体力の強化を主眼としております。

## 目標数値

揺るぎないトップランナーとして1兆円の売上高目標



## 戦略フレーム



# SHIP理念を共有する、変化に強いヘルスケア企業集団を

## 重要施策

### 1 コア事業の更なる高成長

既存四事業を中心にコア事業の更なる成長を加速  
IT基盤、拠点の集約、カイゼン活動による経営力強化

### 2 第五の事業領域 ヘルスケアサービス事業の構築

国内外のヘルスケアサービス事業確立  
既存事業拠点を起点とするビジネスチャンスの拡大

### 3 積極的なM&A展開

積極的・戦略的M&A実施による、  
コア事業の面展開を更に補完・拡大

### 4 株主還元強化

配当性向30%以上の確保  
機動的な自社株買い

## 1 コア事業の更なる高成長

### トータルパック プロデュース事業 (TPP事業)

#### 商社系

統合・再編ノウハウの蓄積とプロジェクトの大型・長期化への対応力強化、グループシナジーの拡大・深化、海外案件の開拓を図る。

#### メーカー系

「モノ」づくりから「コト」づくりへの転換を更に進めると共に戦略的海外展開を進め、情報基盤の統合整備、拠点の見直し等による経営力強化を推進。

### メディカル サプライ事業 (MSP事業)

積極的な戦略的M&Aに注力し全国への面展開を図ると共に、営業基盤である関西エリアにおいて商品マスタ・情報システムの統一による購買力の強化を図り、基幹物流センターの建設に向けた検討を開始。また、新商品の提案・開発を推進。

### ライフケア事業 (LC事業)

#### 施設運営

全国施設の一体経営を更に強化し、地域交流の推進・入居プランの多角化等を通じ、入居率98%以上を維持すると共に、教育研修の充実、外国人技能実習生の受け入れなどによる人材確保を図る。

#### フード

新たな高齢者施設向け食事提供サービスモデルの事業化を図り、収益機会を拡大。

### 調剤薬局事業 (PH事業)

地域ドミナント効果がある戦略的M&Aを通じ、拠点の拡大を図ると共に、かかりつけ薬局の充実と地域包括システムをサポートする体制づくりを強化。

(百万円)



# 目指す

売上高1兆円を目指す企業集団として更なる成長を実現していくために、グループ全50社がSHIP理念の下に連結連動して、各事業領域の高成長を持続すると共に、経営基盤の共有化やカイゼン活動の定着により経営体力の強化を図ることに加え、時代の変化に先駆ける新たな事業領域を確立し、将来を見据えた変化に強いヘルスケア企業集団づくりを目指します。

## 2 第五の事業領域 ヘルスケアサービス事業の構築

### 国内事業

重粒子線がん治療施設経営の2020年度単年度黒字化と昭島国際法務PFI事業の安定的経営を実現。



重粒子線がん治療施設周辺

### 海外事業

バングラデシュ病院事業の2020年度単年度黒字化とミャンマー事業の安定的経営を実現。



病院完成予想図

また、現在進行する各事業拠点を起点として、そのノウハウ・人脈を通じてトータルパッケージプロデュース事業のビジネスチャンスを拡大。

## 3 積極的なM&A展開

### 創業以来、600億円以上のM&A投資を実施

面の確保や旬への対応などに重要であり、当社グループの成長ドライバーとして、今後も積極的な展開を図る。

## 4 株主還元強化

### 最大約160億円の株主還元策を実施

当計画期間に株主還元を強化し、安定的に配当性向30%以上を維持すると共に、今後の事業展開、内部留保の水準、株価の推移等を総合的に勘案し、自社株買い等機動的な株主還元策を実施。

(3年間で配当は約100億円、自社株買いは毎年20億円を上限に実施予定。)

配当性向30%以上

最大20億円/年を上限に  
自己株式取得

## 重粒子線がん治療施設 完工

2015年5月に着工いたしました民間主導の民設・民営として国内初となる重粒子線がん治療施設が完工し、2017年10月1日に竣工式を実施いたしました。同施設は、粒子線によるがん治療法の中でも、強力かつ線量集中性に優れた重粒子(炭素原子)を使用する最先端の施設です。竣工式以来、国内はもとよりアジアをはじめとする海外からも多くの関係者が施設見学に來られ、開院に期待が高まっております。現在は、2018年3月の外来診療開始、同年10月の重粒子線治療開始を目指し、開院の準備を鋭意進めております。当社グループは、同施設の運営や海外での病院運営などを通じ、第五の柱となるヘルスケアサービス事業を拡充してまいります。



大阪重粒子線センター 外観

## 社会に貢献する企業集団として

医療・保健・福祉・介護・サービス分野を対象とする当社グループの事業は、社会生活と深いかかわりを持っております。このような中、当社グループは、社会貢献活動を積極的に展開しております。調剤薬局事業では、グループの調剤薬局が「薬の適正使用に向けた活動」の開催、「薬と健康のつどい」に参加、「薬物乱用防止」の啓蒙活動などを実施。第五の柱であるヘルスケアサービス事業では、海外における医療従事者の育成などに取り組んでおります。また、地域社会とのかかわりにおいては、グループをあげて清掃活動などのボランティア活動を行っております。一方、重要なステークホルダーであります社員につきましても、教育・人事制度の充実や働きやすい環境づくりを通し、コミュニティとして自己実現を支援してまいります。



グループ各社が  
清掃活動に参加



「薬と健康のつどい」  
に参加

薬物乱用防止  
啓蒙活動

## アンケートへの ご協力ありがとうございました。

第25期株主通信において株主の皆さまへのアンケートを実施いたしました結果、554名の方々よりご回答を頂戴いたしました(2017年9月30日現在)。ご協力を心より感謝申し上げます。

集計結果や株主の皆さまのお声の一部を、ここにご紹介いたします。

### 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。



### 当社経営に関して、何を重視すべきと思われるですか？



### その他様々なお意見の一部

- 経営体質強化による事業深耕を期待します。
- 重粒子線がん治療施設の本格展開に期待。
- 中長期の展望を具体的に示して欲しい。
- CSR活動頑張ってください。
- [SHIP]という本を読ませて頂いて株主になりました。
- 何か株主優待を検討してほしい。

今回のアンケートにおきましても、株主の皆さまより多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。今後もシッパヘルスケアグループへのご理解をより一層深めていただけますようIR活動にも積極的に努めてまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

## 業績の概要

## ◎ 主な経営指標の推移[日本基準](連結)

|                      | 2015/3  | 2016/3  | 2016/9  | 2017/3  | 2017/9<br>当第2四半期 | 2018/3<br>(通期予想) |
|----------------------|---------|---------|---------|---------|------------------|------------------|
| 売上高                  | 273,327 | 306,853 | 187,550 | 408,487 | 187,456          | 425,000          |
| 営業利益                 | 13,597  | 14,049  | 5,661   | 16,055  | 6,036            | 16,900           |
| 経常利益                 | 13,910  | 14,737  | 5,869   | 16,478  | 6,309            | 17,100           |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 | 7,472   | 8,847   | 3,155   | 9,410   | 3,625            | 10,000           |
| 総資産                  | 202,562 | 218,456 | 231,743 | 263,540 | 247,759          | —                |
| 純資産                  | 75,864  | 81,522  | 85,406  | 93,632  | 94,956           | —                |

## ◎ セグメント情報 (2017年4月1日～2017年9月30日)

## トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、全体的に下期に偏重している病院完成案件の一部が期初計画より前倒しで計上されました。また、介護系メーカー製品の販売が順調に推移いたしました。

この結果、売上高は31,629百万円(前年同四半期連結累計期間比13.3%減)、セグメント利益(営業利益)は2,662百万円(前年同四半期連結累計期間比19.5%減)となりました。

## メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前期に計上した大型M&Aに伴うアドバイザー費用の影響が無くなることともに、昨年受託が集中したSPD施設の運用が改善され、順調な稼働状況となったこと等により増収増益となりました。

この結果、売上高は129,756百万円(前年同四半期連結累計期間比2.2%増)、セグメント利益(営業利益)は1,578百万円(前年同四半期連結累計期間比49.2%増)となりました。

## ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、入居率の改善が進んだこと、赤字施設の運営が改善したこと等により収益が改善いたしました。

この結果、売上高は11,168百万円(前年同四半期連結累計期間比6.4%増)、セグメント利益(営業利益)は406百万円(前年同四半期連結累計期間比24.4%増)となりました。

## 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、M&Aや新規出店が奏功し、業績は順調に推移いた

しました。

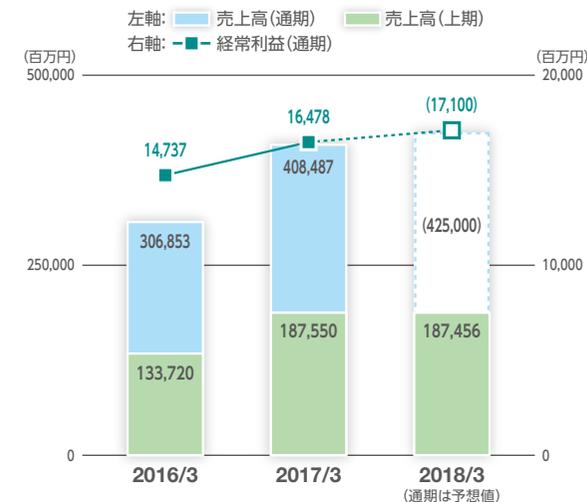
この結果、売上高は12,579百万円(前年同四半期連結累計期間比6.1%増)、セグメント利益(営業利益)は1,346百万円(前年同四半期連結累計期間比28.9%増)となりました。

## その他

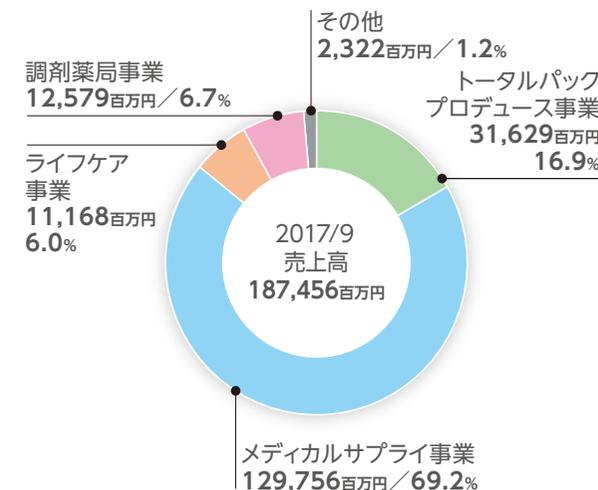
その他におきましては、動物病院の運営及び理化学機器の販売が概ね計画通り進捗いたしました。また昨年グループ入りした警備系会社の業績が期初より寄与いたしました。

この結果、売上高は2,322百万円(前年同四半期連結累計期間比35.7%増)、セグメント利益(営業利益)は143百万円(前年同四半期連結累計期間比174.6%増)となりました。

## 業績トレンド



## セグメント別売上高構成比(2017/9)



## 会社情報

(2017年9月30日現在)

### 会社概要

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社  
 設立 1992年8月  
 代表取締役会長 CEO 古川 國久  
 代表取締役社長 COO 小川 宏隆  
 資本金 155億5,301万円  
 決算月 3月  
 従業員数 連結 5,885名(正社員) 10,805名(従業員)  
 本社所在地 〒565-0853  
 大阪府吹田市春日3丁目20番8号  
 TEL: 06-6369-0130  
 FAX: 06-6369-3191

### 役員

|             |        |
|-------------|--------|
| 代表取締役会長 CEO | 古川 國久  |
| 代表取締役副会長    | 小西 賢三  |
| 代表取締役社長 COO | 小川 宏隆  |
| 代表取締役副社長    | 大橋 浩太  |
| 取締役副社長      | 沖本 浩一  |
| 専務取締役       | 増田 順   |
| 専務取締役       | 小林 宏行  |
| 常務取締役       | 横山 裕司  |
| 取締役         | 早川 澄雄  |
| 取締役(社外)     | 和田 義昭  |
| 取締役(社外)     | 佐野 精一郎 |
| 常勤監査役       | 細川 賢治  |
| 常勤監査役(社外)   | 岩元 廣志  |
| 監査役(社外)     | 中山 秀光  |
| 監査役(社外)     | 大山 博康  |
| 監査役(社外)     | 大内 陽一朗 |

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号  
 TEL: 06-6369-0130 (IR窓口) FAX: 06-6369-3191

URL(ホームページアドレス)

<http://www.shiphd.co.jp/>



## 株式関連情報

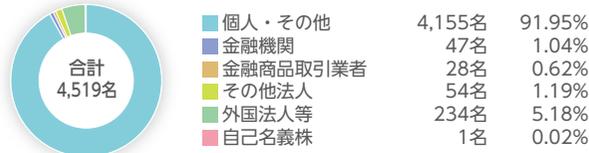
(2017年9月30日現在)

### 株式の状況

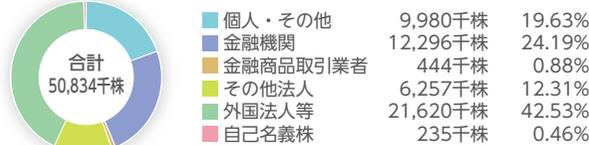
発行可能株式総数.....64,000千株  
 発行済株式総数.....50,834千株  
 株主数.....4,519名

### 株式分布状況

株式分布状況(株主数別)



株式分布状況(株式数別)



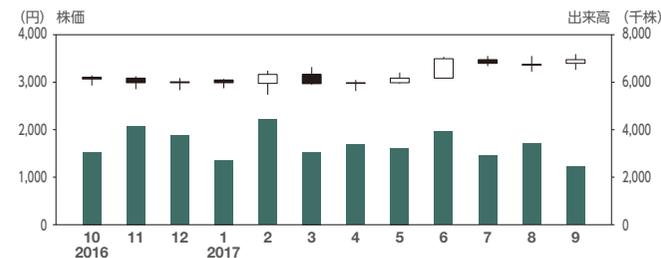
※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

### 大株主の状況

| 株主名                        | [持株数]   | [持株比率] |
|----------------------------|---------|--------|
| 株式会社コッコー                   | 3,988千株 | 7.88%  |
| CBNY-ORBIS SICAV           | 3,074千株 | 6.07%  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)  | 2,667千株 | 5.27%  |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)    | 2,519千株 | 4.97%  |
| 春日興産合同会社                   | 1,400千株 | 2.76%  |
| 古川 國久                      | 1,236千株 | 2.44%  |
| 古川 幸一郎                     | 1,230千株 | 2.43%  |
| CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY  | 1,150千株 | 2.27%  |
| 全国共済農業協業組合連合会              | 1,046千株 | 2.06%  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 1,033千株 | 2.04%  |

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。※ 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

### 株価・出来高の推移



## 株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日  
 期末配当金受領 3月31日  
 株主確定日 毎年6月中  
 定時株主総会 毎年6月中  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 及び特別口座の口座管理機関 2015年10月1日をもって特別口座の口座管理機関を変更しております。なお、株主名簿管理人については変更ございません。  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)  
 上場証券取引所 東京証券取引所  
 公告の方法 電子公告により行う  
 公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>  
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



IR Info ▶ In-depth Company Report Link to Shared Research

### For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc. Please check <http://www.sharedresearch.jp/en/3360> to view the report.